

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第2号 畜産

発行日 平成22年 4月21日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

牧草 適正な春施肥を心がけましょう。

トウモロコシ 地域に合った品種の選定をもとに、栽培計画を立てましょう。

1. 牧草

(1) 草地管理

牧草は平均気温が5℃になった頃から生育を開始します。

圃場が乾いたら、早めに施肥作業が行えるように機械の点検と圃場ごとの施肥量の確認をあらかじめやっておきましょう。また、草丈の短いこの時期に、裸地等草地の状況を確認し、秋に追播、更新が必要かどうかも見てください。

今年のような低温条件下では、牧草のマグネシウム吸収の低下が懸念されます。

低マグネシウム血症(グラスステタニー)の発生を予防するために、過去に発生履歴がある場所では放牧前に苦土石灰を散布したり、マグネシウムの給与やマグネシウム入り鋳塩を設置するなどの対策を行いましょう。

2. 飼料用とうもろこし

地域の気象条件に適合した品種を選定し、安定生産に努め、飼料自給率の向上を図りましょう。

(1) 品種の選定

トウモロコシの栽培は、品種の選定が最も重要です。

栄養収量と発酵品質が最良である「黄熟期」に収穫しましょう。したがって、降霜前に黄熟期に達する品種を選定しましょう。

栽培面積が多くなる場合には、熟期の異なる品種を組み合わせることで収穫期間の延長を図りましょう。

(2) 適正な堆肥の施用

家畜ふん尿の多量投入はトウモロコシの硝酸態窒素含量を高めるほか、ミネラルバランスも崩れ、家畜の栄養上問題となります。10a当たり3~4tの施用としましょう。

(3) 霜害に注意

トウモロコシの発芽は約1週間ですので、予想される晩霜の1週間前が播種の早限です。しかし、晩霜は年によって異なりますので、これまで度々霜害を被っている圃場では覆土を5cm程度に厚くするなどの対策も講じましょう。

(4) 栽植本数

密植すると雌穂が小さくなりTDN含量が低下するだけでなく倒伏にも弱くなります。10a当たりの適正栽植本数は、早生品種で7,000本、中生品種で6,500本、晩生品種で6,000本程度です。

(5) 試験研究成果～極早生品種の紹介～

岩手県農業研究センター畜産研究所が、H21年度試験研究成果として報告している、本県で高位生産が期待できる飼料用トウモロコシ極早生品種について紹介します。

品種名：「ニューデント 95 日」

特性：

- ア 乾物収量、雌穂割合とも高く、TDN 収量も高い（表 1）
- イ 試験を行った 3 年間を通じて倒伏の発生は無かった（表 2）
- ウ 耐病性では、すす紋病に対して強く、ごま葉枯病に対しては中程度の強さである。また根腐病、すじ萎縮病は試験を行った 3 年間を通じて発生が無かった（表 2）
- エ 雄穂抽出期は「ディア HT」より 12 日、「おおぞら」より 3 日遅い。絹糸抽出期は「ディア HT」より 2 日遅く、「おおぞら」より 1 日早い。また、播種～黄熟期までの所要日数は「ディア HT」より 3 日、「おおぞら」より 2 日遅い（表 3）。

（標準品種「ディア HT」（H19,H20）及び「おおぞら」（H21）との比較）。

適用地帯：県下全域

畜産研究所（標高 250m）における試験成績

〔 施肥量(kg/10a) 窒素 12、リン酸 14.4、カリ 12
 栽植密度 7018 本（畝間 75cm×株間 19cm）

表 1 収量性

品種名	試験年次	生草		乾物			TDN		
		雌穂 kg/10a	総量 kg/10a	雌穂 kg/10a	総量 kg/10a	雌穂率 %	生産速度 kg/10a/日	収量 kg/10a	生産速度 kg/10a/日
ニューデント 95 日	H19	1812	7490	906	1915	47.3%	19	1357	14
		117	111	126	121	104	114	122	114
	H20	1654	6547	861	1684	51.1%	16	1211	12
		114	111	113	115	98	112	115	111
H21	1689	5041	942	1581	59.6%	14	1173	11	
	120	102	117	104	112	104	106	106	
	平均	1719	6359	903	1727	52.7%	17	1247	12
ディア HT	H19	1546	6771	718	1577	45.5%	17	1110	12
		100	100	100	100	100	100	100	100
	H20	1452	5913	764	1461	52.3%	14	1055	10
		100	100	100	100	100	100	100	100
おおぞら	H21	1411	4966	808	1523	53.0%	14	1103	10
		100	100	100	100	100	100	100	100

下段は標準品種を 100 とした時の値。

表 2 障害及び病害

	倒伏率	病害抵抗性		罹病率			
		すす紋	ごま葉枯	根腐	黒穂	紋枯	すじ萎縮
発生率、罹病程度評点値	0.0%	2.3	3.3	0.0%	1.4%	1.1%	0.0%
評価	無	強	中	無	微	微	無

- 1 発生率、罹病程度評点値は 3 年間の平均数値。
- 2 すず紋病及びごま葉枯れ病の罹病程度評点値は無を 1、甚を 9 とした。

表 3 生育的特性及び形態的特性

品種名	試験年次	播種からの日数				播種から黄熟期までの積算温度 ()	播種 50 日後草丈 (cm)	収穫時 かん長 (cm)	収穫時 着雌穂高 (cm)
		発芽期	雄穂抽出期	絹糸抽出期	黄熟期				
ニューデント 95 日	H19	11	74	73	116	2234	149	270	116
	H20	10	75	73	116	2227	84	264	127
	平均	11	75	73	116	2231	116	267	121
ディア HT	H19	12	63	72	112	2155	154	252	110
	H20	10	62	70	113	2157	82	244	102
	平均	11	63	71	113	2156	118	248	106
DKC34-20	H21	8	72	71	117	2252	106	218	85
おおぞら	H21	8	69	72	115	2218	113	236	86

春の農作業安全月間実施中！ [4月15日]
 [~6月15日]
 農作業 慣れと油断が 落とし穴 初心を忘れず 安全第一

次号は 5 月 27 日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。